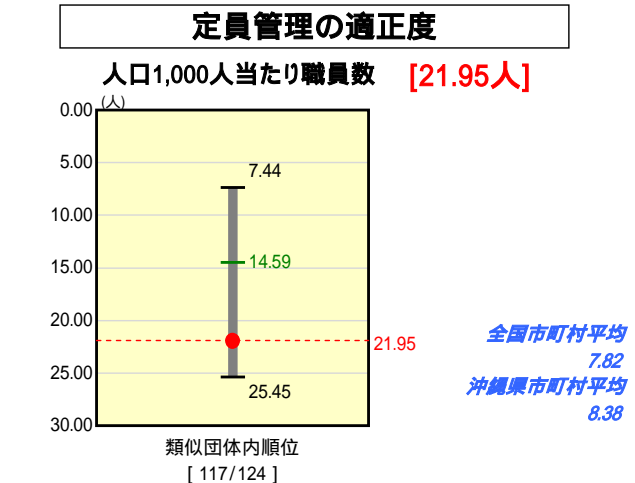
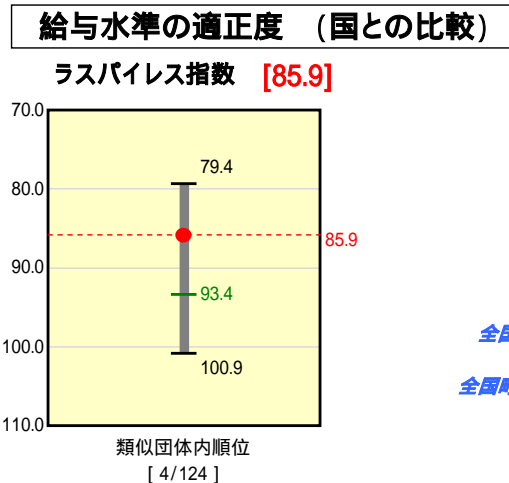
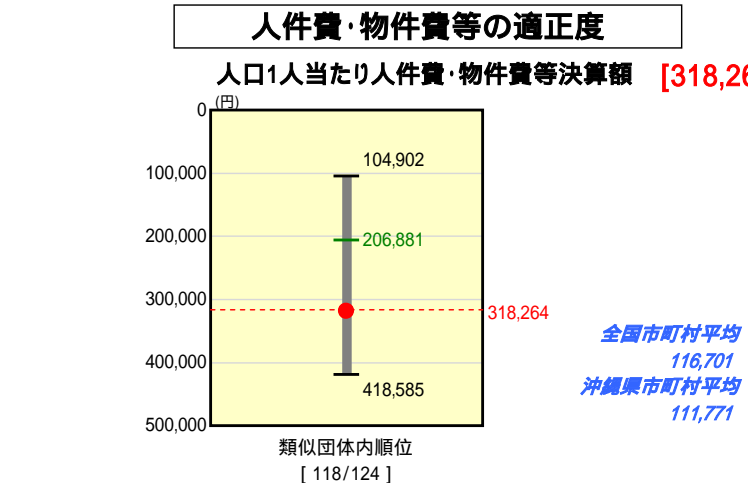
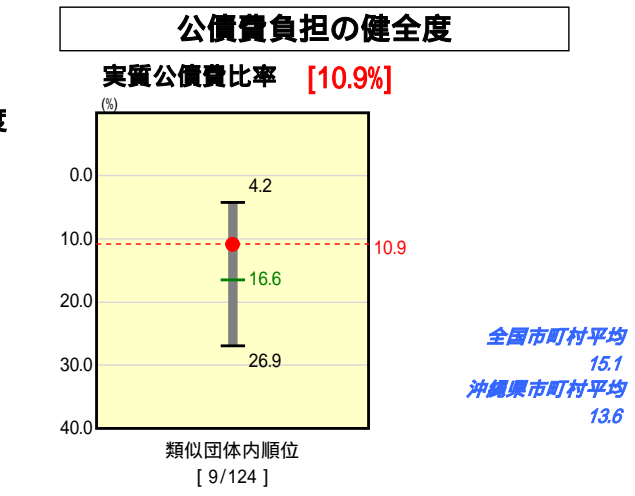
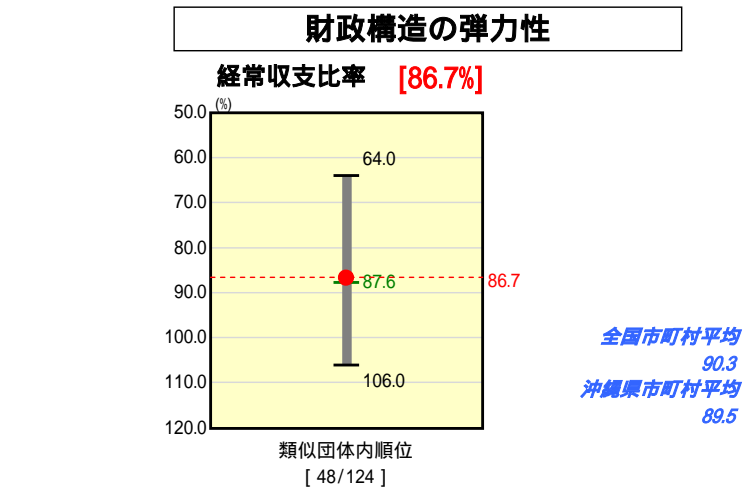
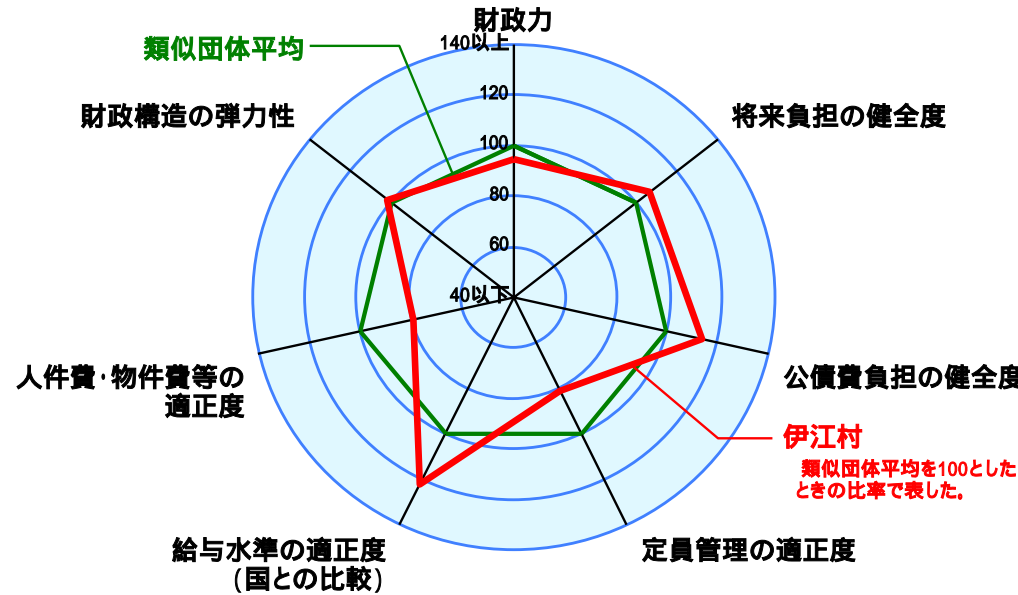
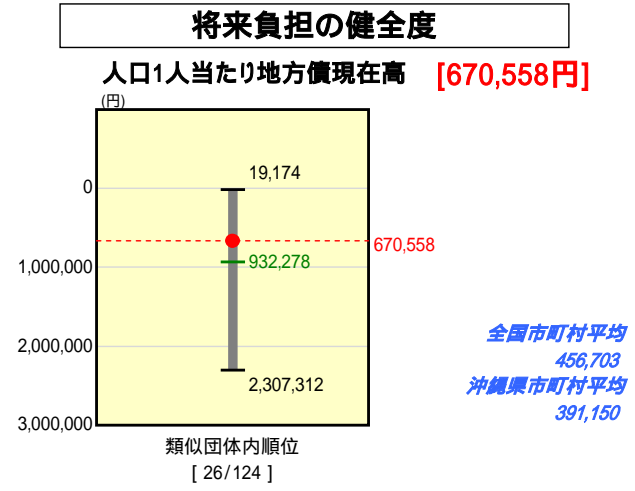
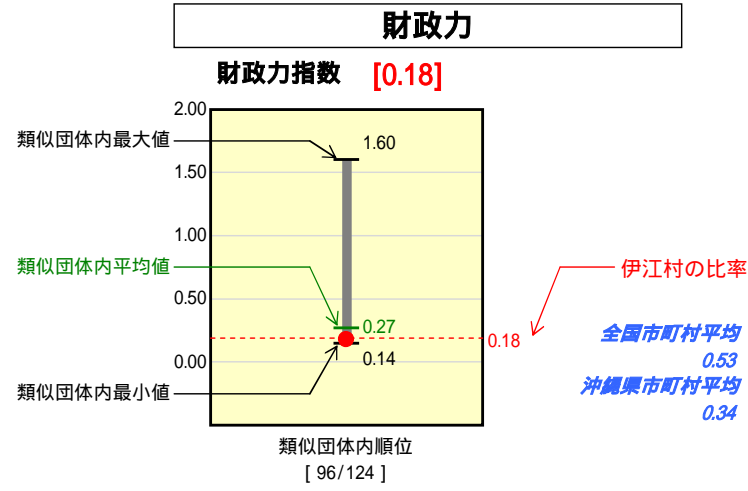


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 沖縄県 伊江村

人口	5,102	人(H19.3.31現在)
面積	22.77	km <sup>2</sup>
歳入総額	4,580,144	千円
歳出総額	4,469,334	千円
実質収支	101,658	千円



### 分析欄

**財政力指数:** 過疎地、離島のため、財政力指数は沖縄県市町村平均にも満たない現状にある。税源移譲による若干の税収の伸びはあったものの、人口の減少や高齢化により課税客体の減少も予想されるなか地方交付税・国庫・県支出金に支えられた財政運営をしいられていることは否めない。

**経常収支比率:** 昨年までは若干類似団体よりも比率が高かったが、H18決算においては全国平均、沖縄県平均よりも良い結果となる。扶助費等で増加の傾向があるものの、既発債の償還終了と新規起債の抑制効果による公債費の抑制が図られた。今後も一般財源の減少が見込まれることから、給与の適正化を図る事はもちろんのこと、その他事務事業の見直しにより経常経費の見直しを図る。

**給与水準の適正度(ラスパイレス指数):** 以前から県・全国・類似団体平均より低い、今後も人事院勧告を準拠し指数の適正化に努める。

**実質公債費比率:** 大型プロジェクトに伴い発行した起債が、現在償還のピークを迎えているが、従前より行っていた新規起債の抑制、効率補助事業の導入による発行額の抑制等により償還額が削減されている。今後は、義務教育施設整備事業の元金償還開始や農業基盤整備に起債を行うことが推測されることから、村の財政状況を考慮し、新規事業の精査を行い財政の健全化を図る。

**人口1人当たり地方債現在高:** 高率補助による事業導入により、起債の発行金額を最小限度にとどめており、類似団体を対象にすると、低い値を示している。しかし、平成20年度、21年度において中学校校舎改築工事における多額の起債を予定しており、また、県営かんがい排水事業、国営事業の負担金おける起債もを予定していることから、村単独事業においては財政状況を勘案し十分な精査を行い最低限の発行に努める。

**人口1,000人当たり職員数:** 本村は、村立保育所が三ヶ所、診療所を1ヶ所所有しており、その部門で類似団体との職員数の比較増が生まれている。次期行政改革では保育所を一ヶ所減にすることも含め検討していく。平成21年までに8%の削減を計画している。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額:** 維持補修・修繕費は大幅抑制しているものの、村立保育所を三ヶ所、診療所を1ヶ所所有している為、それに係る物件費の割合は類似団体・全国・県内市町村より額より大きい。今後も定員適正化計画に基づき人件費の抑制を図ると共に行政サービスの低下を招くことのないよう事務の効率化を図る。維持補修・修繕事業は、今後も優先順位を精査し抑制に努める。